

大洪水…

フレッシュマン・オカザキのインド通信

お世話になっております！

今月も最新のインド情報をお届けします！

現在インド南部全域で豪雨が続き、タミルナドゥ州チェンナイでは大規模な洪水が起こっています。その衝撃的な写真がこちらです…↓



新聞の写真を送っていただきました。道路が川となり、木々がなぎ倒されてしまっていますね…。今後も断続的に降り続く事が予想されており、警戒が続いております。

これほどの豪雨が連日続くとなると丁場は採掘が出来ず、もし1~2日雨が止んだとしても今度は堀口に溜まった水をポンプで吸い上げる作業に

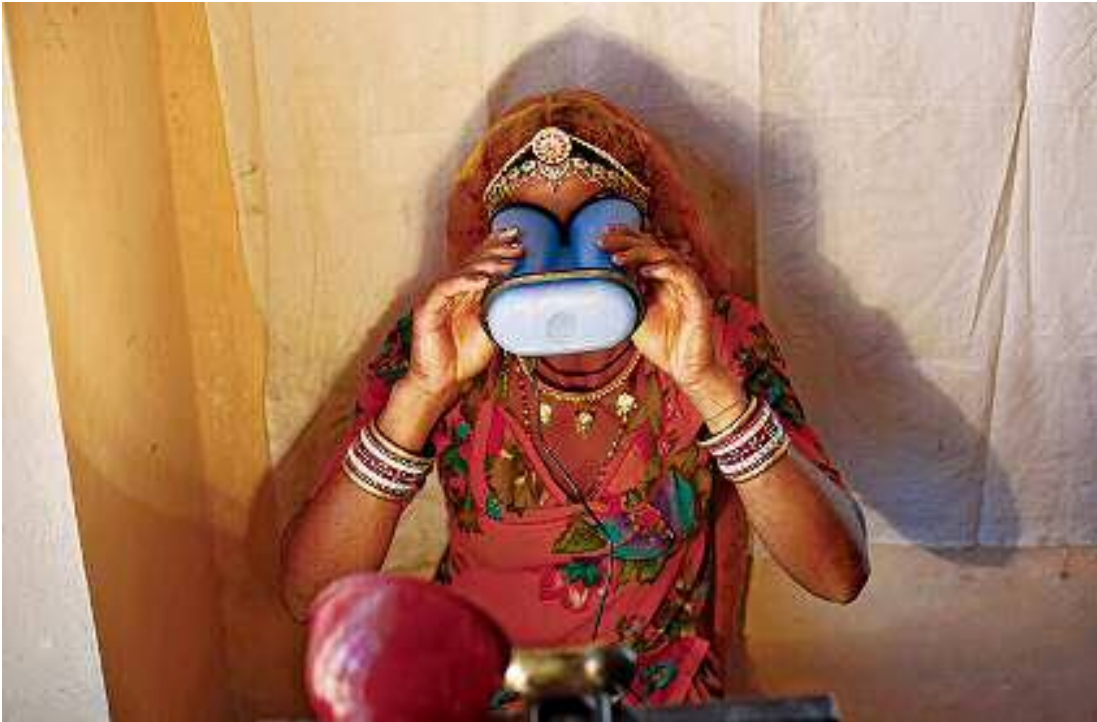
追われ、結果的に数週間作業が出来なくなってしまう。工場も運送の遅延や職人の出社が遅れるなどして生産に影響が出てしまいます。

さて、なぜこれほどまでに大きな影響が出てしまったのでしょうか。その原因は、インドの独特な気候です。

インドには大きくわけて 3 つの季節があります。乾季、暑季、そして雨季です。地域によって時期に違いがあり、**インド南部は 1~3 月が乾期、4,5 月が暑季、そして 7~12 月が雨季となります。**通常であれば雨季はスコールのような雨が 1 日に何度か降り、大雨になることも毎年あります。また、この時期は季節風(モンスーン)が大きく影響し、今回のような洪水に見舞われる事態も発生します。1 週間後に出張の予定を立てているのですが、それまでに過ぎ去ってくれる事を願うばかりです…。

「アドハー」個人識別番号制度の実用化

インド政府は 2009 年からアドハーという新制度を導入し、一人一人の国民に 12 桁の個人識別番号を付与し、13 億の全国民の情報を 1 つのデータベースに集約する取り組みを開始しました。インド各地で多くの人が続々と登録センターに足を運び、生体情報（顔写真、両手の全ての指の指紋、両眼の虹彩）を登録して身分証明カードを受け取りました。日本のマイナンバー制度のようなものですが、より多くの個人情報をも政府が握ることになる、とも言えます…。



↑虹彩データを採取している様子

制度導入から9年、2017年7月の時点で成人の99%以上、11億6000万人近くが登録を済ませたとされています。「世界最大の生体情報データベース」は、ほぼ完成に近づいていると言えます。

アドハーとは、ヒンディー語で「基礎」という意味です。福祉受給の有資格者に漏れなく給付を行い、さらには不正受給をなくすことが目的として謳われていました。それまでインドでは、身分証明書を持っていない人が非常に多く、貧困層は社会の輪の外に追い出されていました。その点では非常に良い政策のように聞こえますが、貧困層だけでなく、なし崩しに対象がどんどん広がり中流階級の人々や納税者もカードを取得しなければならなくなりました。「行政の改善を掲げつつ、他方では監視を強めている」と懸念する声もあるようです。



↑家はこのような状態ですが(失礼…)、識別カードを持っています。

インドにはプライバシー保護法もなければ、集められた生体情報を守る法律も未だにありません。更に、政府の個人情報管理に疑問を抱かざるを得ない事はもちろんですが、インフラの整備が追い付いていない中なぜこれほどまでに普及を急いでいるのでしょうか。。

傍から見ている分には興味深々で調べている私ですが、もし自分がインド人だったらと考えると、生きていく事すら不安を覚えてしまいます…(笑)
そんな中、混乱にも負けずに弊社に協力してくれている工場や丁場に尊敬と感謝の念を抱かずにはられません！

それでは今月はこの辺で失礼いたします。

最後まで読んで頂き、有難う御座いました！

2017/11/01 オカザキ